



小松ウオール工業株式会社 | 東証プライム 7949

2026年3月期 決算補足資料

2026年4月27日

■ 2026年3月期 決算概要	3
■ 2027年3月期 業績予想	10

2026年3月期実績

- オフィス向けの好調や高付加価値製品の販売増加により、売上高・利益とも過去最高を更新、売上高は4.7%増収、営業利益は12.8%増益、ROEも7.9%へ上昇
- 品目別では、可動間仕切やトイレブース、移動間仕切はオフィスや文化施設向け等が好調。固定間仕切は学校向けは増収だが病院向け等が減収で前期並み
- 高付加価値製品の販売増加により売上総利益率も0.8ポイント上昇
- 受注残はオフィスや文化施設向けの好調で、固定間仕切を除く全品目で増加。固定間仕切はオフィスや工場向け等の受注が減少

2027年3月期予想

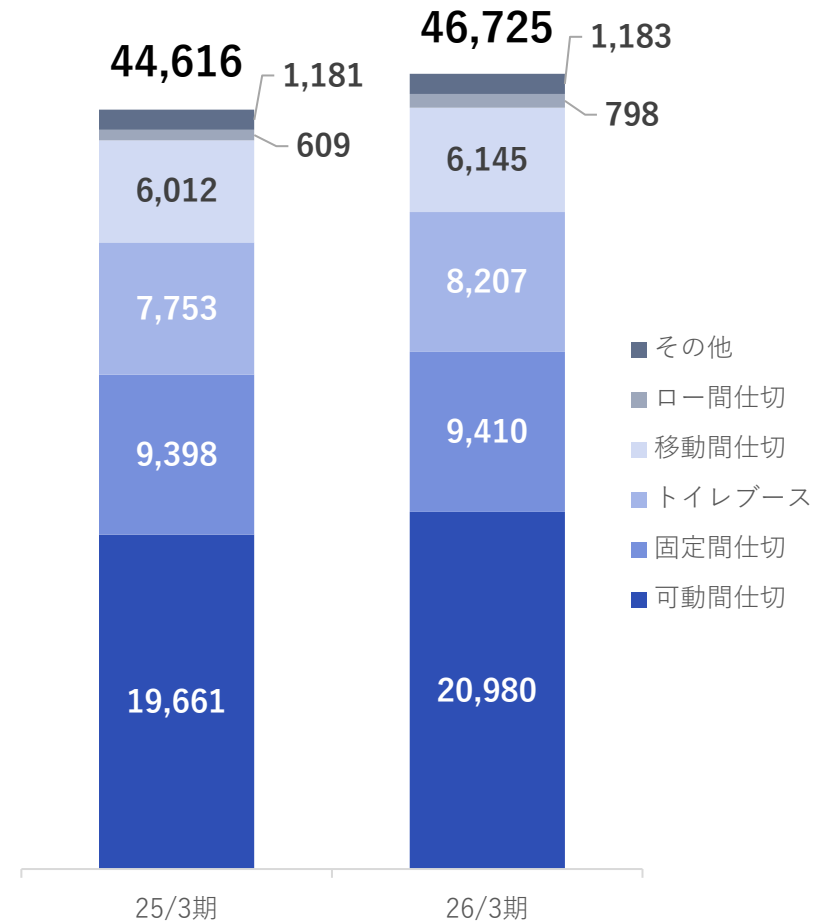
- 2027年3月期の売上高は4.0%増収予想。26年3月末の受注残も増加しており、オフィス向け可動間仕切や移動間仕切の堅調な推移を予想
- 営業利益は3.9%増益予想。人材投資に伴う人件費や材料費の上昇を見込むが、増収効果により吸収し増益を予想

株主還元

- 2026年3月期に配当方針を純資産配当率（DOE）3%から6%目安に変更
- 同方針に基づき、26年3月期は前期比倍増の130円、27年3月期も135円配当を予想

売上高

(百万円)



2026年3月期 決算概要説明

2026年3月期 決算概要

決算概要

- オフィス向けの好調や高付加価値製品の販売増加により、売上高、利益とも過去最高を更新、ROEも7.9%へ上昇
- オフィス向けが引き続き好調、その他すべての品目も増収となり売上高は4.7%増収と期初計画をやや上振れ
- 高付加価値製品の販売増加により売上総利益率も0.8ポイント上昇、人材投資等の販管費増加を吸収し、営業利益は12.8%増益

単位：百万円	2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期従来予想 (25年4月時点)		2026年3月期実績		前期比 増減率	予想比 増減率
売上高	43,551	100.0%	44,616	100.0%	46,500	100.0%	46,725	100.0%	4.7%	0.5%
売上総利益	14,746	33.9%	15,759	35.3%	—	—	16,873	36.1%	7.1%	—
営業利益	3,640	8.4%	3,635	8.1%	4,060	8.7%	4,099	8.8%	12.8%	1.0%
経常利益	3,732	8.6%	3,756	8.4%	4,130	8.9%	4,150	8.9%	10.5%	0.5%
当期純利益	2,775	6.4%	2,650	5.9%	2,930	6.3%	3,048	6.5%	15.0%	4.1%
1株当たり 当期純利益	149円04銭*		145円64銭*		160円97銭		173円32銭		19.0%	7.7%
1株当たり 配当金	62円50銭*		65円00銭*		130円00銭		130円00銭		100.0%	—

* 2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割。1株当たり当期純利益と1株当たり配当金の算出は分割後の株数で遡及修正

品目別売上高

- 可動間仕切やトイレブース、移動間仕切はオフィスや文化施設向け等が好調。固定間仕切は学校向けは増収だが病院向け等が減収で前期並み
- 受注残はオフィスや文化施設向けの好調で、固定間仕切を除く全品目で増加。固定間仕切はオフィスや工場向け等の受注が減少

単位：百万円	2025年3月期	2026年3月期					
	売上高	売上高	前期比増減率	受注高	前期比増減率	受注残高	前期比増減率
合計	44,616	46,725	4.7%	48,315	3.2%	20,486	8.4%
└ 可動間仕切	19,661	20,980	6.7%	21,455	2.7%	5,759	9.0%
└ 固定間仕切	9,398	9,410	0.1%	9,062	△9.3%	5,267	△6.2%
└ トイレブース	7,753	8,207	5.9%	8,547	6.1%	3,783	9.8%
└ 移動間仕切	6,012	6,145	2.2%	7,186	17.4%	5,205	25.0%
└ ロー間仕切	609	798	30.9%	813	29.6%	101	18.2%
└ その他	1,181	1,183	0.1%	1,249	9.1%	369	21.9%

貸借対照表

■ 新工場建設に向けた投資により有形固定資産が増加、一方で支払等により現預金が減少。純資産の増加により総資産は前期末比18億円増加
ROE向上に向けて、増配により純資産の増加を抑制しROEは7.9%へ上昇したが、自己資本比率は80.7%と引き続き高い財務安全性を維持

単位：百万円	2024年3月期末	2025年3月期末	2026年3月期末	前期末差
流動資産	32,539	31,322	27,189	△4,133
現預金	17,640	16,714	12,245	△4,469
売上債権・契約資産	13,615	13,231	13,370	139
棚卸資産	1,123	1,117	1,278	161
固定資産	14,915	15,433	21,414	5,981
有形固定資産	11,767	12,260	18,142	5,882
無形固定資産	385	415	431	16
投資その他の資産	2,763	2,757	2,840	83
総資産	47,455	46,756	48,603	1,847
負債	9,388	8,965	9,367	402
買掛金	2,350	2,323	2,423	100
有利子負債	0	0	0	0
純資産	38,067	37,790	39,236	1,446
負債純資産合計	47,455	46,756	48,603	1,847

キャッシュ・フロー計算書

■ 運転資金は増加したが利益計上等により営業CF*は4,385百万円、一方で新工場建設に伴う建設仮勘定が増加し、投資CFは△6,086百万円

■ 設備投資に伴う資金需要と配当金の支払等により、期末現預金は前期比3,505百万円減少し、10,144百万円へ

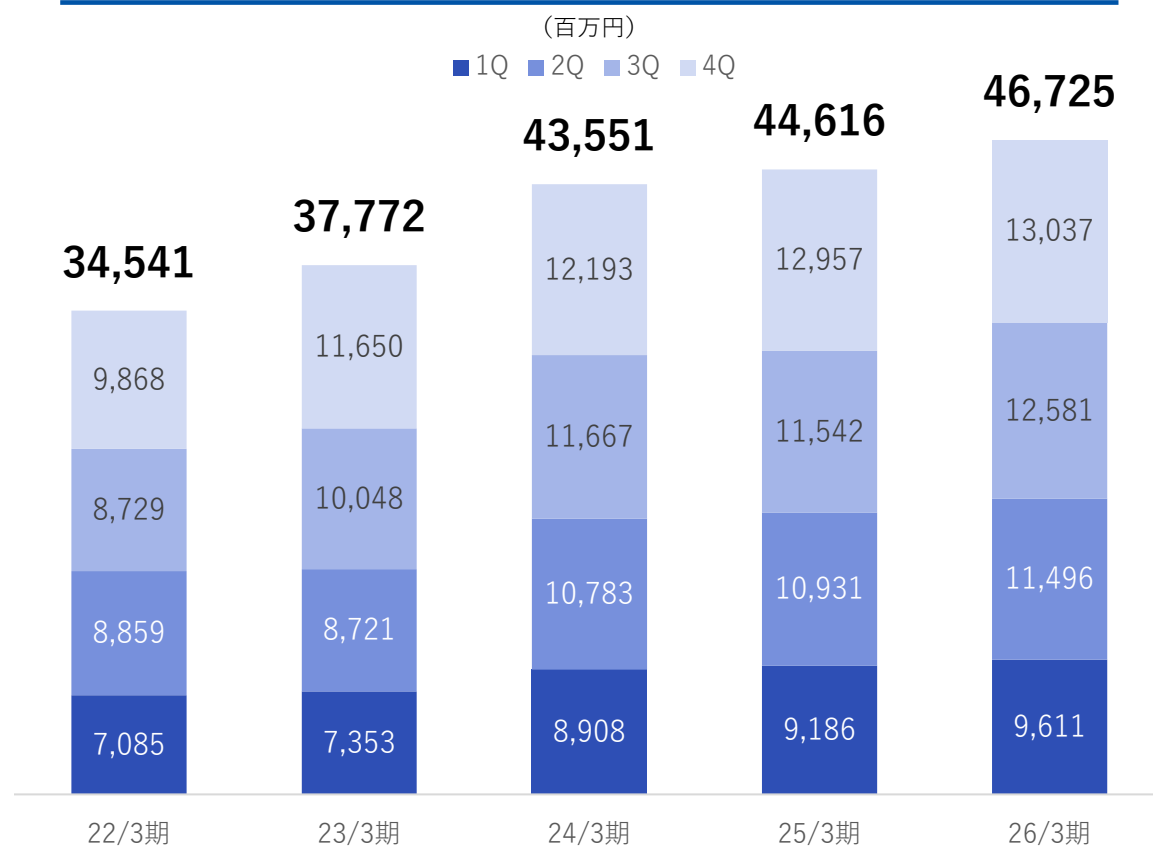
単位：百万円	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	前期差
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,273	3,327	4,385	1,058
税引前当期純利益	3,744	3,802	4,128	326
減価償却費	1,127	1,160	1,201	41
売上債権の増減額（△は増加）	△434	383	△137	△520
棚卸資産の増減額（△は増加）	△99	5	△161	△166
仕入債務の増減額（△は減少）	4	△26	99	125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,171	△469	△6,086	△5,617
有形固定資産の取得による支出	△916	△1,323	△6,934	△5,611
定期預金の預入・払戻による支出入	0	1,000	1,000	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,056	△2,729	△1,803	926
配当金の支払額	△1,041	△1,229	△1,788	△559
自己株式の取得・売却による支出入	△0	△1,485	△0	1,485
現金及び現金同等物の期末残高	13,521	13,649	10,144	△3,505
フリーキャッシュ・フロー	3,102	2,858	△1,701	△4,559

*CF：キャッシュ・フロー

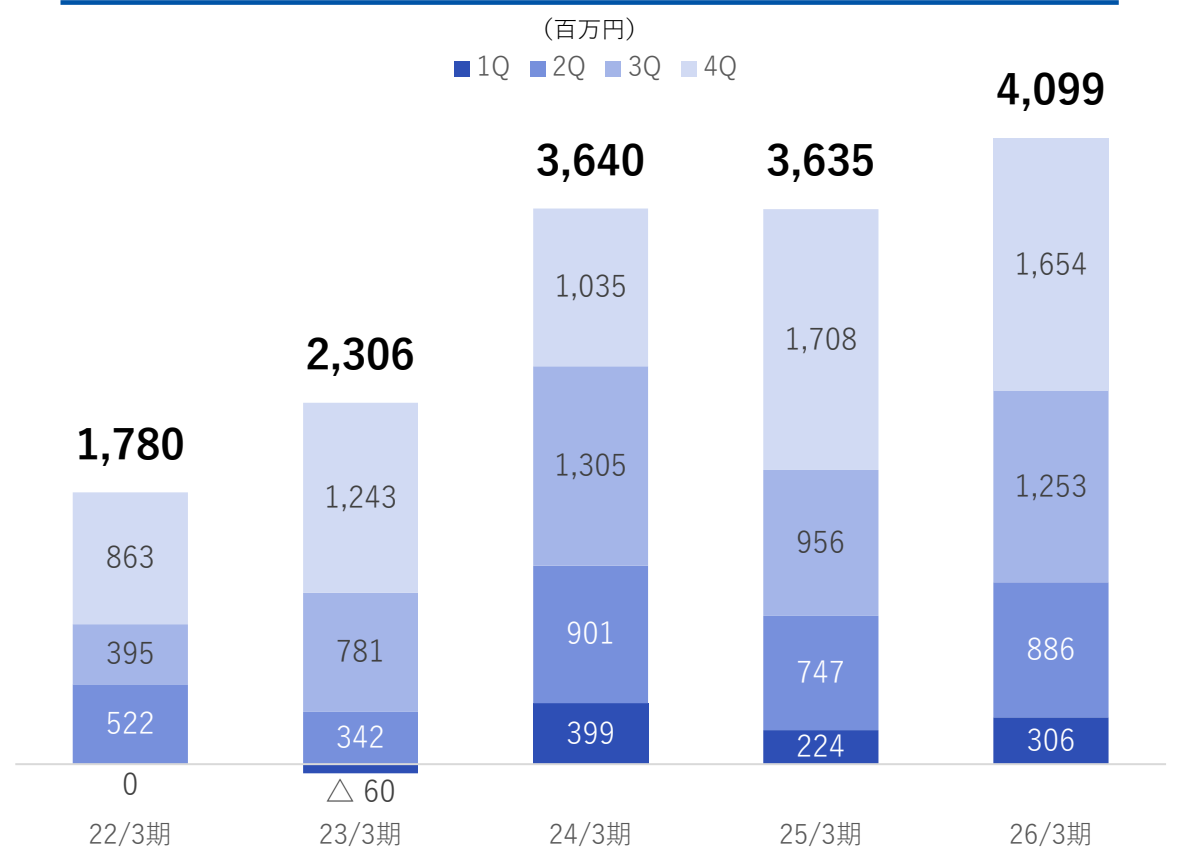
四半期業績推移

■ 2026年1-3月期の売上高は好調だった前年同期を上回り0.6%増収、高付加価値製品の増加により売上総利益率は前年同期並みの37.5%となったが、人材投資に伴う人件費増加などで、営業利益は3.2%減益

四半期売上高



四半期営業利益



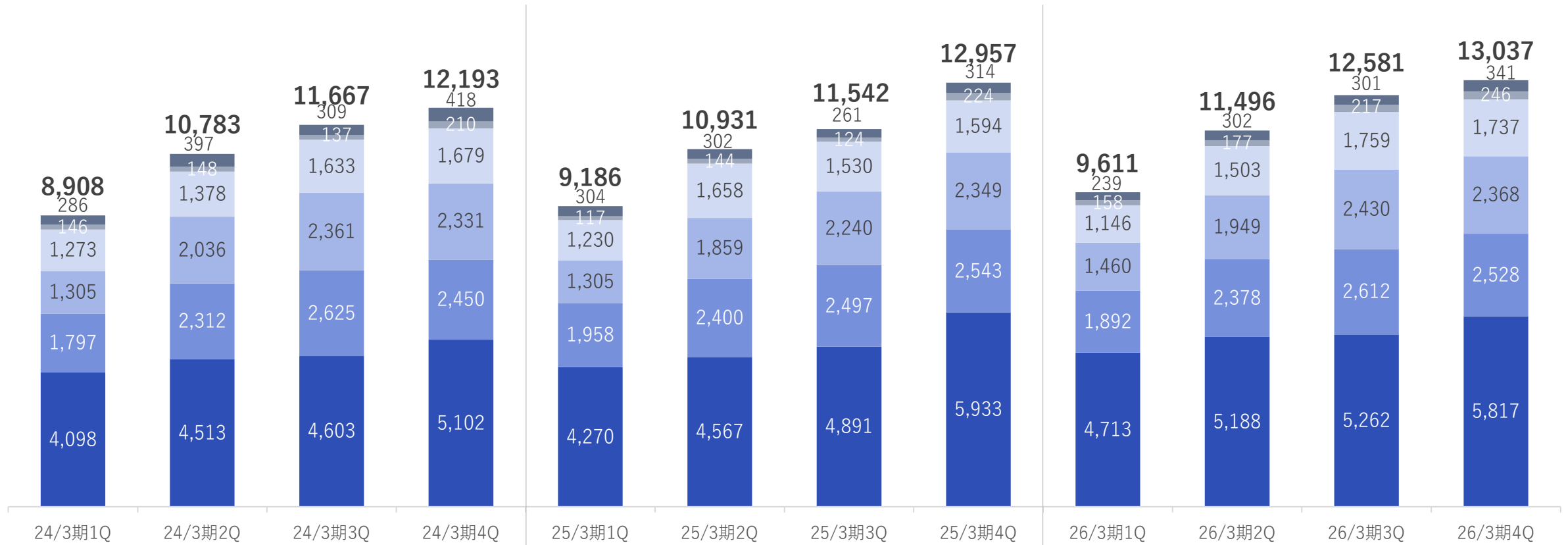
四半期品目別売上高推移

■ 2026年1-3月期は0.6%増収、移動間仕切とロー間仕切は10%弱の増収となったが、前年同期の水準が高く可動間仕切等は前年同期並み

品目別売上高

(百万円)

■ 可動間仕切 ■ 固定間仕切 ■ トイレブース ■ 移動間仕切 ■ ロー間仕切 ■ その他



2026年3月期 決算概要説明

2027年3月期 業績予想

業績予想

- 2027年3月期の売上高は4.0%増収予想。26年3月末の受注残も増加しており、オフィス向け可動間仕切や移動間仕切の堅調な推移を予想
- 営業利益は3.9%増益予想。人材投資に伴う人件費や材料費の上昇を見込むが、増収効果により吸収し増益を予想
- 2025年4月に配当方針を純資産配当率（DOE）3%から6%目安に変更しており、27年3月期の配当も前期比5円増配の135円を計画

単位：百万円	2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期 通期予想		前期比 増減率
売上高	44,616	100.0%	46,725	100.0%	48,600	100.0%	4.0%
営業利益	3,635	8.1%	4,099	8.8%	4,260	8.8%	3.9%
経常利益	3,756	8.4%	4,150	8.9%	4,310	8.9%	3.8%
当期純利益	2,650	5.9%	3,048	6.5%	3,050	6.3%	0.0%
1株当たり利益	145円64銭*		173円32銭		173円39銭		0.0%
1株当たり配当金	65円00銭*		130円00銭		135円00銭		3.8%

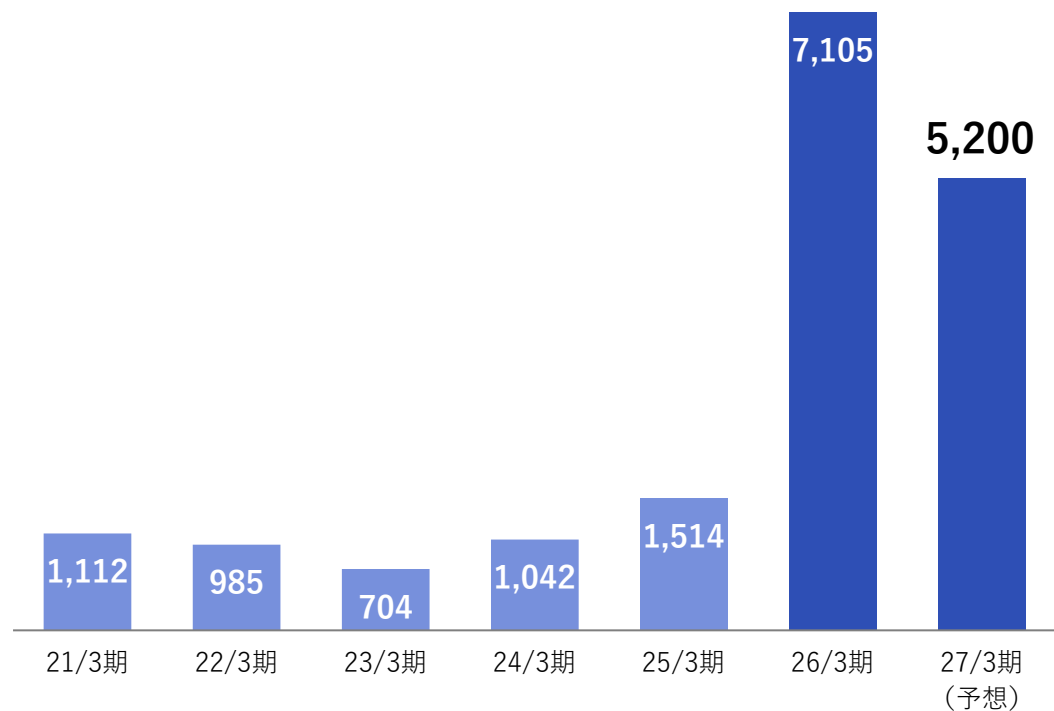
* 2024年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割。1株当たり当期純利益と1株当たり配当金の算出は分割後の株数で遡及修正

設備投資、減価償却費

- 2026年3月期は71億円の設備投資を実施、加賀工場2号棟建設関連49億円や名古屋ショールームへの投資等
- 2027年3月期は52億円の設備投資を計画、加賀工場2号棟関連39億円や維持更新投資等

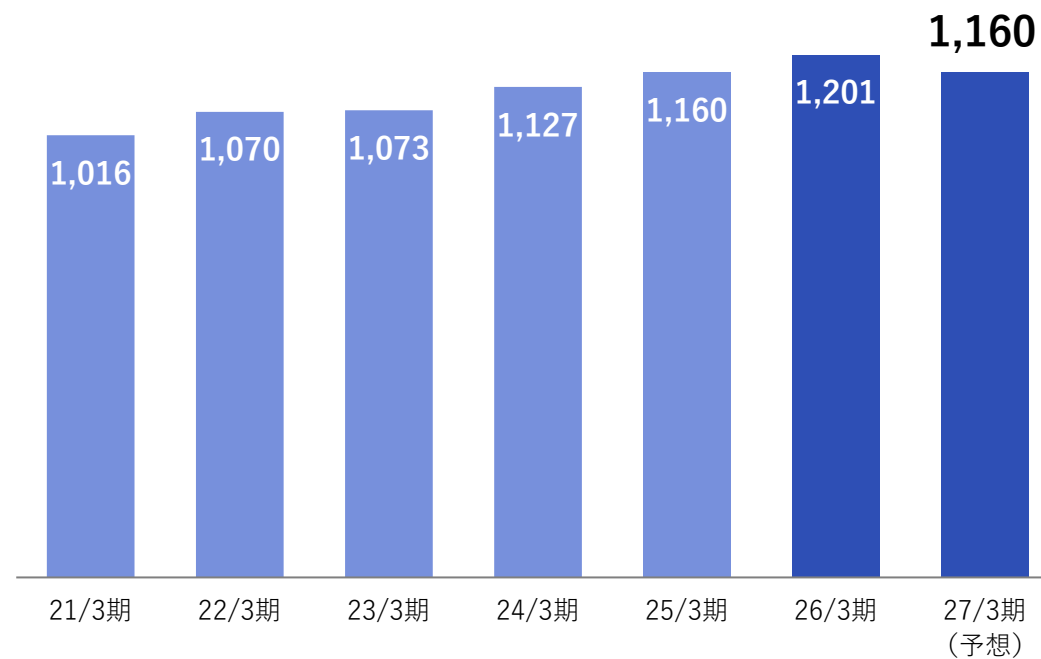
設備投資

(百万円)



減価償却費

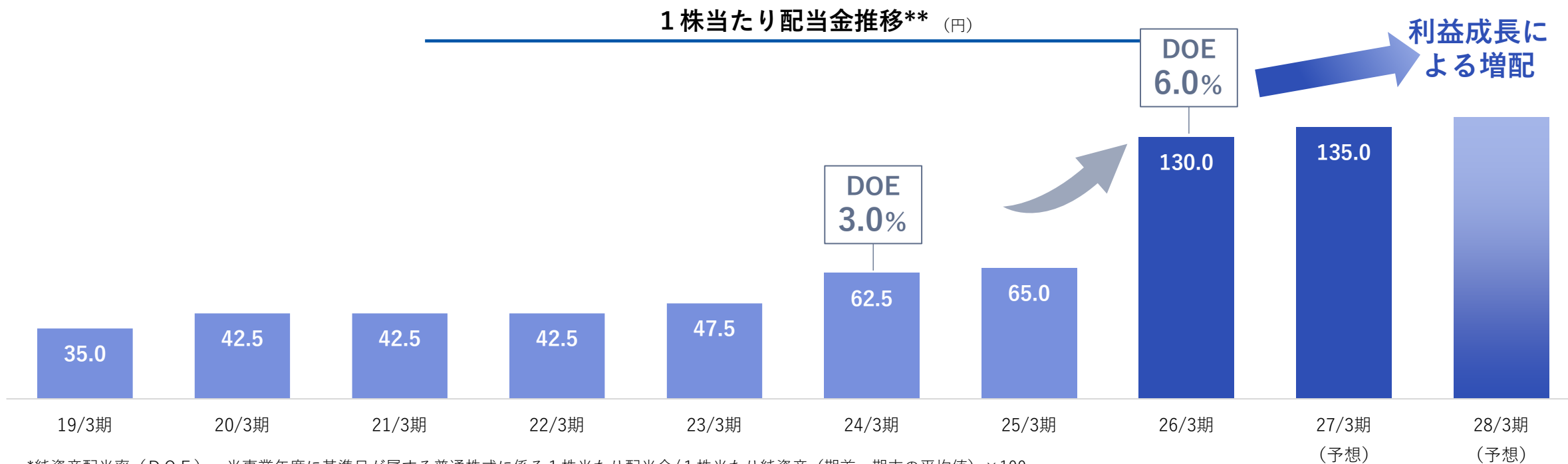
(百万円)



株主還元方針

- 2026年3月期から株主還元方針を変更し、純資産配当率（DOE）6%を目安とした配当へ引き上げ
- 上記方針に基づき、2026年3月期は前期比2倍の130円へ増配、2027年3月期も5円増配の135円を予想

純資産配当率*（DOE）6%を目安とした配当を実施
 持続的な成長も実現し、配当水準の安定的向上を目指す



*純資産配当率（DOE）＝当事業年度に基準日が属する普通株式に係る1株当たり配当金/1株当たり純資産（期首・期末の平均値）×100

**2024年10月1日付で1：2の株式分割を実施。過年度の配当金は株式分割後の株数での配当金に遡及修正

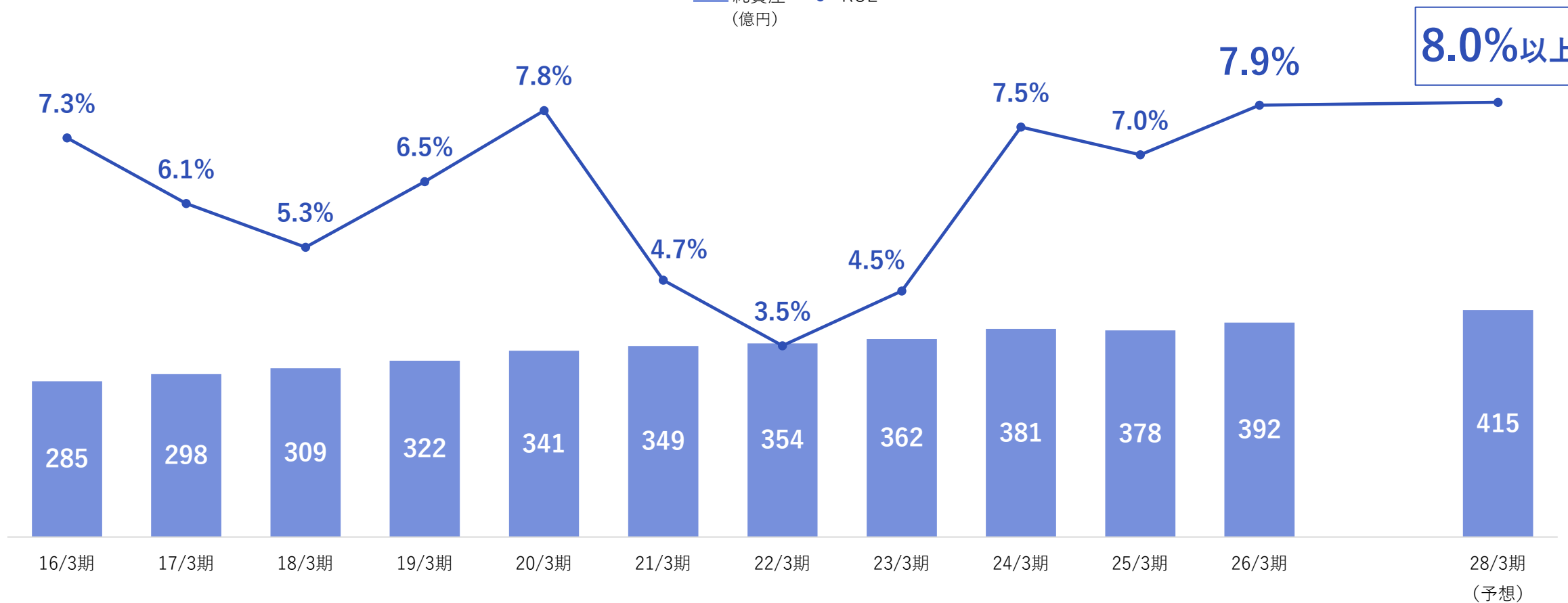
ROEの推移

■ 売上高当期純利益率の改善と株主還元強化により、中計最終年度の2028年3月期にはROEを8%以上に引き上げる

■ 2026年3月期は増益の達成と大幅な増配による純資産の増加抑制により、ROEは7.9%に上昇

ROEの推移

■ 純資産 (億円) ■ ROE





小松ウォール工業株式会社 | 東証プライム 7949

お問合せ先

小松ウォール工業株式会社
社長室

TEL 0761-21-3131(代表)

https://www.komatsuwall.co.jp/form/form.php?form_id=201

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。